

R6「SDGs ビジネス創出支援事業」について寄せられた質問と回答

Q1) 仕様書 P2 (2) SDGs ビジネスマッチング支援業務について。マッチングイベントの開催会場は、大阪府と協議の上、会場を決定とのことだが、大阪府指定会場を利用した場合、会場費用は委託費に含まれないという認識でよいか。

大阪府と協議の上、大阪府が指定した会場を利用する場合も、会場費用を委託費に含めてください。

なお、過去のイベント会場は以下のとおりです。

- ・ 令和元年度 ビジネスプラザおおさか
- ・ 令和4年度 大阪イノベーションハブ
- ・ 令和5年度 QUINTBRIDGE

※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンラインで開催

Q2) 採択された場合、今年度のイベント実施に際して、大阪府より、令和5年度に行ったビジネスマッチングイベント開催時に参加した事業サポーターや共創パートナーに繋いでもらえるのか。

原則として、受託事業者が令和5年度事業のサポーター等に主体的に働きかけていただくこととしております。

(仕様書 P.2 「(2) SDGs ビジネスマッチング支援業務②」参照) 大阪府から働きかけが必要な場合は別途協議とさせていただきます。なお、サポーター・共創パートナーの登録状況は下記をご参照ください。

【これまでの事業の概要】

https://www.pref.osaka.lg.jp/energy/sdgs/r6_koubo.html

Q3) 昨年の成約数 10 件の内容を教えていただくことは可能か。

個別の内容はお示しできませんが、イベントでの商談をきっかけに、共創パートナーと成約に至ったものが主になります。

Q4) 昨年度作成した WEB サイトの運営について。サイト運営費等の費用を受託費用に含むと記載がありますが、WEB サイト運営等にかかる費用はどれくらいを想定すればよいか。

WEB サイトの活用方法にもかわる内容ですので、WEB サイト運営等にかかる費用についても、提案内容に含むこととさせていただきます。なお、提案にあたっては、仕様書 P.2 「(2) SDGs ビジネスマッチング支援業務②」記載の URL もご参照ください。

Q5) 仕様書 P2 (2) SDGs ビジネスマッチング支援業務について。食の関連分野を含む2つの分野という選定だが、食の関連分野を含みたい意図を教えてください（特に食の中でも取り上げたいテーマなどがあれば教えてください）。また2つのテーマは、調査を踏まえ、ニーズがあれば受託事業者で設定が可能か。

・大阪府としては、大阪の強みである食の関連分野を通じて、SDGs に関連するビジネスの創出支援に貢献していきたいと考えています。

・テーマ設定にあたっては、仕様書 P.1 「(1) 令和7年度以降のSDGs ビジネス支援のあり方検討に向けた調査」の結果を踏まえ、企業ニーズ等も勘案し、食の関連分野を含む、2つ以上の効果的なテーマ設定をお願いします。

Q6) 事業化着手件数とは、どのような形で数値を把握する形となるのでしょうか。（事業化の見込みがあるものも含むということですが、企業としてその意思があるかというアンケート等でよいか）

受託事業者からのヒアリングやアンケート等を通じて、事業化着手件数（見込み含む）を把握してください。事業化着手件数は、原則として、プレゼンターとして登録済のビジネスプラン・アイデアに関して、共創パートナーとの共創・協業若しくはサポーターによる支援（以下「支援等」といいます。）が決定したもの、又は支援等に向けて、協議中若しくは具体的に協議予定のもの件数になります。

Q7) 個別の伴走支援に関する取り決めはあるか。個別の伴走支援の範疇はどこまでか。予算の枠では実行できない支援に関して個別で契約を結ぶことは可能か。

- ・個別の伴走支援に関する取り決めや範疇の指定はございませんが、仕様書 P.2 記載のとおり令和 6 年度事業における事業化着手件数（商談後、今後事業化の可能性のある状態）が 20 件以上となることを目標に企画・実施してください。
- ・「SDGs ビジネス創出支援事業」の委託費とは別に、受託事業者の責任のもと、個別に契約を結ぶことを妨げるものではありません。ただし、個別の契約で得た収入を本事業の委託契約の財源に充てることはできません。

Q8) 提案書は [様式 2] の 2 (1) 以降は用紙の縦横含め自由と考えて問題ないか。

お見込みのとおりです。